

第2次山梨県食の安全・安心推進計画に係る数値目標の進捗状況（令和2年度）

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成している項目 ○：順調に進捗している項目 △：進捗が遅れている項目 ー：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時 (H27)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	数値目標 (R3)	進捗状況	R2事業実績	計画の分析・評価と今後の課題	関係課室
(1) 監視指導等に基づく「生産」から「消費」に至る食品の安全性の確保	1	食品衛生監視指導計画に基づく標準監視回数の達成率	115%	130.1% (達成)	111.4% (達成)	127% (達成)	68.9%		100%	△	令和2年度食品衛生監視指導計画に基づいた監視指導を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、監視指導数は減少した。	食品衛生法の改正に伴い、許可・届出の業種が変更およびHACCP導入（令和3年6月本施行分）になることから、監視数や監視方法が変わっていくので、分析していく必要がある。	衛生業務課
	2	給食施設巡回指導の計画の実施率	ー	101.7% (達成)	100.9% (達成)	104.6% (達成)	89.9%		100%	○	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により巡回指導の中止を余儀なくされたが、電話やオンライン等を活用した指導を実施し、給食施設における栄養管理の質の向上を図った。 巡回実施計画数：49（学校を除く） 巡回実施数：44	各保健所ごと、管内の給食施設の状況を踏まえた指導ができていない。 給食施設からの報告や巡回指導の結果を分析し、給食施設における栄養管理の更なる質の向上を図る必要がある。	健康増進課
	3	やまなしGAP等認証数（累計） （策定時：GAP（農業生産工程管理）の導入産地数）	30産地	31件	80者	130者	182者		200者 (R4 240者)	◎	やまなしGAPの普及・拡大を図るとともに、国際水準GAPの取得を推進した。 ○GAP指導員研修等への普及指導職員の派遣（6名） ○やまなしGAP認証審査会の開催（3回） ○GAP推進フォーラムの開催（1回） ○国際水準GAPの認証取得支援（3校） ※H29年度に新たに「やまなしGAP」を創設したため、その認証数を実績として掲載する。なお、目標値は「やまなし農業基本計画」と整合を図り修正。	安全・安心な農産物の供給のため、GAP指導体制づくりやGAP認知度の向上のための研修を実施し、「やまなしGAP」等のGAP認証を推進した。 今後は、既認証者の継続支援と新規認証希望者への取得支援を実施する。	農業技術課
			【参考指標】年40者増			120者	160者	200者					
4	有機農業の取り組み面積	132ha	160ha	181ha	204ha (達成)	204ha (達成)		200ha	◎	新型コロナウイルス感染症の影響で有機農業アカデミーは開催できなかったが、有機農業取り組み面積の拡大を図った。 ○環境保全型農業直接支払交付金による支援 ○有機農業実証ほの設置（3カ所） ○販路拡大等の支援	有機農業への理解を深める講演会や開発した技術の普及・実証、農産物の販路拡大により、有機農業の取り組み面積が増加した。引き続き生産者への支援や技術普及、農産物の販路拡大により有機農業への取組面積の拡大を図る。	農業技術課	
		【参考指標】年14ha増	146ha	160ha	174ha	188ha	202ha						
5	HACCPの普及啓発に係る講習会参加者数	8,335人	8,433人	延べ16,360人 (H29～H30)	延べ24,255人 (H29～R1)	延べ25,275人 (H29～R2)		延べ42,000人 (H29～R3)	△	食品関係講習会の実施時に、HACCP導入による衛生管理について説明を行い普及啓発を行った。 食品衛生法改正による本施行を前に普及啓発を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で受講者数は減少した。	食品衛生法の改正に伴い、HACCP導入になることから、監視指導方法が変わっていくので、分析していく必要がある。	衛生業務課 甲府市衛生課	
		【参考指標】年8,400人増	8,400人	延べ16,800人 (H29～H30)	延べ25,200人 (H29～R1)	延べ33,600人 (H29～R2)	延べ42,000人 (H29～R3)						
(2) 食品に関する正確な情報の提供	6	食の安全・安心ポータルサイトアクセス数	11,079件	13,822件 (達成)	11,589件	10,823件	6,978件		12,000件	△	かいじ号やくらしの情報、講習会等でサイト周知。 自主回収情報等随時更新を行った。 【ポータルサイトアクセス数内訳】 トップページ (PC)：3,076件 トップページ (スマホ)：118件 自主回収情報ページ：3,784件	随時内容を更新し、かいじ号やくらしの情報、講習会等でサイト周知を行ってきたが、アクセス数が伸び悩み目標を達成できなかった。 今後は、掲載内容の検討や、食育Instagramを活用した周知等を併せて行っていく。	県民安全協働課
			【参考指標】年427件増	10,721件	11,148件	11,575件	12,000件	12,427件					
	7	食品表示合同調査による食品の適正表示実施率100%の地域店舗の割合	76%	70.0%	77.9%	85.3% (達成)	86.6% (達成)		85%	◎	食品表示合同調査を各地域ごとに実施した。 <調査施設数、調査品目数> 調査施設数：516施設 不適正表示施設数：69施設、 調査品目数：6,857品目 不適正表示品目数：239品目	店舗により適正表示の実施率に差があるため、不適正表示の多かった地域を重点的に調査するなど、引き続き取組を継続する。	県民安全協働課
【参考指標】年1.3%増			81.2%	82.5%	83.8%	85.1%	86.4%						
8	食品表示ウォッチャーからの報告件数	4,146件	2,738件	2,943件	7,781件 (達成)	6,256件 (達成)		4,350件	◎	食品表示ウォッチャーの91名のうち84名から6,256件の報告があった。 <報告内訳> 4～6月：1,510件、7～9月：1,632件、 10～12月：1,527件、1～3月：1,587件	県民参加による監視活動は、県民の食品表示に対する知識の普及と県民や事業者の適正表示への意識を高める効果があるため、引き続き取組を継続する。	県民安全協働課	
		【参考指標】年41件増	4,187件	4,228件	4,269件	4,310件	4,351件						

○各指標項目ごとの達成状況

◎：目標を達成している項目 ○：順調に進捗している項目 △：進捗が遅れている項目 ー：評価できない項目

重点項目	NO.	指標項目	策定時(H27)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	数値目標(R3)	進捗状況	R2事業実績	計画の分析・評価と今後の課題	関係課室
(3) 関係者間の相互理解の増進、信頼関係の構築	9	リスクコミュニケーションの機会への参加者数	705人	1,398人(達成)	1,245人(達成)	1,223人(達成)	20人		730人	△	新型コロナウイルスの影響により講演会等を開催することができなかった。 ・食の安全・安心を語る会：未実施 ・食品ロス削減に向けた研修会：未実施 ・食育推進シンポジウム：未実施 ・食の安全・食育推進大会：未実施 ・県政出張講座：0名 ・県民生活センター講座：(1回)20人	引き続きリスクコミュニケーションの機会を設け、県民の食の安全に対する意識を高める。今後はコロナ感染症の拡大を踏まえ開催方法を検討していく。 ※食育推進シンポジウムと食の安全・食育推進大会はR2をもって事業終了	県民安全協働課
	10	学校給食における地場産物の使用割合(食材ベース)	23%	31.7%(達成)	23.6%	27.5%	ー		30%	ー	○市町村教育委員会学校給食担当者対象の説明会における地場産物の活用促進の依頼(書面開催) ○栄養教諭、学校栄養職員対象の研修会における地場産物活用の教育的効果についての講義、先進的な取り組みの紹介 ※例年、文部科学省で実施している「学校給食栄養報告」による調査が新型コロナウイルスの影響により不実施となった。	食育月間や学校給食週間を中心として地場産物を活用した給食を県下全域で実施する。地域の生産者や販売所と連携した、地産地消のための情報共有を推進する。学校給食における年間を通じた地場産物の活用と、教科や給食時間中の食育指導において、地場産物を効果的に用いるための研修会を工夫する。 ※文部科学省からの調査内容の変更に伴い、R3年度以降から食材ベースから金額ベースへと目標指標が変更となる。	保健体育課
	11	県内店舗における原産地に関する詳細な情報提供の実施率(指定する5種類)	ー	53%	47%	59%	84.2%(達成)		70%	◎	食品表示合同調査実施時に加工食品5種類について、詳細な原産地情報の表示を確認した。 <調査品目数> 調査品目数：667品目 国産表示品目数：487品目 国産表示品目数のうち 詳細な情報提供表示 品目数：272品目	食品表示法の改正により全ての加工品の原産地表示が義務づけとなる(R4.2月)ため、詳細な表示が行われるよう引き続き周知を行う。	県民安全協働課
		【参考指標】年14%増	14%	28%	42%	56%	70%						
(4) 食の安全・安心を総合的に推進するための体制整備等	12	農業管理指導士・農業適正使用アドバイザーの有効認定者数	486人(H23~27の平均値)	515人(達成)	509人(達成)	483人	502人(達成)		500人	◎	農業管理指導士及び農業適正使用アドバイザーの認定研修会(R2.2月、3月) ○農業管理指導士 認定者：83人 ○農業適正使用アドバイザー 認定者：71人	毎年度計画的に認定研修会を実施し、計画通り認定者を確保している。引き続き、認定研修会により指導士及びアドバイザーの育成・確保を図る。	農業技術課
	13	食育推進ボランティア(食生活改善推進員を除く)の登録者数	1,284人	1,759人(達成)	1,665人(達成)	1,512人(達成)	1,438人(達成)		1,400人	◎	○学生へのボランティア養成講座 ・山梨学院短期大学 6月233名 ○学生ボランティア等による保育所等での食育活動はコロナのため不実施	大学と連携し、保育所等への学生ボランティアによる食育活動として定着しており、今後も継続して実施していく。また、今後はコロナ感染症の拡大を踏まえ開催方法を検討していく。	県民安全協働課

○推進計画における数値目標に対する進捗状況

区分	項目数	構成比(%)
目標を達成している項目	7	54%
順調に進捗している項目	1	8%
進捗が遅れている項目	4	31%
評価できない項目	1	8%
計	13	100%